

主なルール変更（2023年5月1日施行）v3

同一チームの選手それぞれが0から9までの異なる整数を付けなければならない。（0が認められた）

チームの選手は、同一の色、スタイルおよびデザインで、ポケット、スナップまたはクリップのついてないショーツまたはパンツを着用しなければならない。パンツは最大サイズ4×4インチ（10×10cm）の各脚の前面にあるブランド、ロゴ、または番号を除いて、単色でなければならない。

フラッグプル フラッグプルとは、対戦相手から片手または両手で1つまたは複数のフラッグを抜くことをいう。守備側の選手はランナーに向かってフラッグプルする権利がある。

フラッグガーディング フラッグガーディングとは、ランナーが体の部分（手、腕、足）で、またはボールでフラッグを覆い、もしくはディフェンス選手がフラッグを取ろうとする前に腰より下でフラッグの前で手を振ってフラッグプルを回避しようとする行為をいう。

ダイビング ダイビングとは、ジャンピング、ディッピング、スピンの有無にかかわらず、ランナーが上体を前傾させることで、フラッグプルを回避またはフラッグへの接近を妨げる行為をいう。

不正なキック 罰則-反則地点から5ヤードの施行、ロスオブダウンとして扱われる。

不正なラン 罰則-5ヤード スクリメージラインから施行、ロスオブダウンとして扱われる。

* **不正なタッチ** a. **パサー**は自分が投げたパスには、相手のディフェンス選手が触れた後のみボールをキャッチまたは触るか叩くことが認められる。

罰則-スクリメージラインで、ロスオブダウンとして扱われる。

c. 攻撃側の選手はバックワードパスを前方向へ叩いてはならない。

罰則-反則地点から5ヤードの施行、ロスオブダウンとして扱われる。

RULE 9 SECTION 1 コンタクト反則 ARTICLE 1

e. ランナーには優先進路がなく、対戦相手とのコンタクトを避けるすべての義務がある。ランナーとディフェンス選手によるコンタクトの責任が同等だった場合、オフENSEの反則となる。

(contribute equally)

RULE10 SECTION3 ARTICLE 1 ベーシックスポット

d. 攻守交代後、自陣エンドゾーンで、ボールがエンドゾーンから出る前に反則がおきた場合の施行地点は自陣 5 ヤードラインである。

ARTICLE 2 手順 4, トライダウンの成功後に得点したチームではない方のチームによる 10 ヤード罰則の反則は、次のシリーズの時に施行される。その他の反則は、規則により辞退される

.....

重要な変更

- Glasses non-breakable redefined (割れにくい眼鏡について再定義)

ARTICLE 3. Illegal Equipment

d. All kinds of glasses and frames made from breakable material which could splinter. NOTE: Certified sport glasses made of synthetic material under standard specifications are available

イリーガルエクイップメント

割れやすい素材で作られた、あらゆる種類のメガネやフレーム。

注：標準仕様の合成素材で作られた認定スポーツグラスは使用可能

(Jafa 訳注：本件は具体的に使用可能な眼鏡について、議論が続くと思われる)